

もう少しもう少しと努力しているときが一番幸せ

残暑の候、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

この社内報が発行される時には、既にオリンピックは終了していますが、この原稿は、女子レスリング63^キ級の伊調選手が金メダルを獲得した時に書いています。

北京オリンピックは前回の勢いはないまでも、獲得した金メダルはほとんどが連覇と大変な偉業であります。



代表取締役社長 吉田治伸

一度頂点を極めた人間がまた4年間厳しい練習を行い、また勝つなんて事は尋常の努力ではありません。

女子柔道63^キ級金メダル連覇の谷本選手は、大府の大石道場で学んだようですが、道場の子供達が強くなるために必要な事と教え込まれることは「**目標を持つこと**」「**得意技を持つこと**」だそうです。仕事にも共通すると思いませんか。

(さしあたって、当社の得意技は「**笑顔、挨拶、報連相、身だしなみ**」であって欲しいと思っています。)

今の若者達から、「**楽しみたい**」なんて言葉がでますが、その陰には、苦しい練習を乗り越えてきた事は見逃せません。「**練習はうそをつかない**」という言葉があるように一回勝負のオリンピックに勝つ美しさは、実は、その裏側にあります。

オリンピックの結果に表れるものは、決して運の良さが左右するのではなく、日頃の成果であります。表題の言葉は、あるメダリストが言った言葉です。頑張った経験のある人ならわかるのではないのでしょうか。少し先の成長や成功を夢見て頑張る黄金の日々です。

人生というオリンピックで自分が目指すメダルを目指して日々成長したい、頑張りたい、そしてそんな自分をほめてみたい。もっともっと熱くなりたいものです。

そんな場所や仲間を提供できる会社になりたい。そんな事を思いながらオリンピックを見ていました。

9月になってもまだまだ暑いようです。ご自愛下さい。